

2026年度の始めにあたって
～長野県健康づくり事業団は健診の受診率向上を目指します～

年度の始めにあたり、「事業計画」を策定しました。「2026年度 事業計画」は、ホームページに掲載しています。

今年度は、健診機関としての総合力を活かすとともに、新たな検査の実施や産業保健サービスの充実など、健診実施主体である市町村や事業所の皆様、受診者の皆様の利便性向上と受診機会の拡大、健診精度の維持向上、安全性の一層の確保を図り、受診率の向上につながる取り組みを進めます。

新たに、「歯周病スクリーニング検診」を巡回健診において提供します。身体的負担が少ない「唾液潜血検査と問診」を用いた検査です。国は、全身の健康と深く関連する歯周病の早期発見・重症化予防を図るため、「生涯を通じた歯科健診」を推奨しています。

検査から保健指導、ストレスチェックまで一貫した健診や、乳がん検診や子宮頸がん検診も対応可能な総合力を活かします。健康づくりには継続的な受診が大切ですが、健診結果データを健診履歴としてまとめて健康管理に役立ていただくことができます。

事業団には、巡回健診と施設健診（長野健康センター、伊那健康センター）の2つの機能があり、それぞれの特性を活かして受診者のニーズに応じた保健サービスを提供します。

健康センターでは、日帰り人間ドックや生活習慣予防健診を受診でき、各種のオプション検査も用意しています。昨年度から、生活習慣の改善に役立つ「推定1日食塩摂取量検査」を取り入れています。

安全で正確な健診の実施に努めます。健診精度の維持向上を図るため、長野県が設置する「がん検診検討委員会」や長野県医師会が設置する各種の検診委員会に参加するとともに、事業団として「専門医による各種委員会」を設置しています。また、事業団内に「事故予防対策委員会」を置いて常に適切な検査方法と事故予防対策を検討しており、立会い医師の配置や巡回健診の現場におけるシステムの導入など、検査体制や検査手順を見直し安全性の一層の確保を図っています。

健康診断は、健診後のフォローアップが大切です。事業団は、保健師や管理栄養士、健康運動指導士による保健指導や健康増進支援を行っています。また、長野健康センターでは、予約制の診療を行い、健診受診者の生活習慣関連疾患のフォローアップと、乳がん検診や甲状腺疾患の精密検査・フォローアップを行っています。

皆様には、事業団の保健サービスをご利用いただき、健康づくりにお役立ていただきますようお願い申し上げます。